

## 中 区

### 浜松城公園整備事業全体計画の策定について

#### 課題

浜松城公園は市を代表する文化・観光の拠点として市民や観光客に親しまれているが、全体的な整備の取り組みが進んでおらず、その価値を生かしきれていない。

同公園は、都市公園としてだけでなく、美術館などの文化施設、学校、体育館跡地の活用など、複数の部局が関係し、それぞれの施設の整備方針が定まらなると全体計画を示すことができない状況にある。

市中心部の拠点として、歴史的価値などその潜在力を発揮していく上でも、また徳川家康の居城として全国に浜松を発信する観点からも、同公園の将来像を明らかにしていくことが、多くの市民から求められている。

そのためには今後、部局ごとの検討に委ねるだけでなく、組織を横断する議論を進め、全体的な整備計画を早期に策定していく必要がある。

#### 平成 22 年度の方針

平成 20 年度策定の浜松城公園歴史ゾーン整備事業基本構想の中では、天守閣を中心とする歴史ゾーンの整備計画が示されているが、他のゾーンについては今後の将来像が示されていない。

浜松城公園の全体像を描いていくには、新美術館の建設問題や文化施設（文芸館、茶室）の方向性、学校統廃合に向けた議論を含め、浜松城公園の全体的な整備計画を包括的に検討する必要がある。

このため、関係する部局（企画部、公園緑地部、生活文化部、教育委員会等）並びに有識者や市民を交えた横断的な組織を新たに立ち上げて、各部局の課題を共有・検討し、市制 100 周年に向けて全体計画の策定を進め、市民に浜松城公園の将来像を示していく。